



立正大学

RISSHO University Alumni Association Since 2009

立正大学校友会報

No.37

たちばな

2018.4.1



◆ 発行／立正大学校友会 ◆

- P.02 平成30年度校友会事業計画
- P.03 立正大学校友会に関する申し合わせ・立正大学校友会委員会細則改正
- P.04 熊谷キャンパス開設50周年写真賞が決定しました
- P.08 同窓会会長のご挨拶
- P.09 同窓会支部総会開催報告
- P.10 立正大学同窓会定期総会 in九州・熊本へのお誘い
- P.11 熊本地震災援金報告 全国の同窓会の皆様ありがとうございました
- P.12 平成29年度課外活動顕彰
- P.13 橘会会長のご挨拶・郵政会会長のご挨拶
- P.14 平成30年度橘会保護者懇談会開催日(案)
- P.15 INFORMATION

平成 30 年度

校友会事業計画

平成 29 年 12 月 7 日開催の校友会委員会で承認されました。(平成 29 年度事業報告・決算報告書、平成 30 年度収支内訳予算書は 7 月号に記載いたします)

【平成30年度事業の取り組み】

平成30年度は校友会開設第3期（平成29年度～平成32年度）2年目となり、昨年度に引き続き生涯メールの登録者を増やすための勧誘活動、橋会と同窓会支部との連携による地方での保護者懇談会・同窓会支部総会・支部卒業生の講演会の同時開催、校友の集いを品川キャンパスで学園祭と同時開催によるホームカミングデーの実施、校友会特別助成制度の導入により、活躍する課外活動団体等への助成をはじめとして、成績優秀者への顕彰、校友会奨励賞の授与などを含め、「絆、そして未来へ。」のキーワード（平成22年度より使用）のもとに「校友の絆の強化と発展」を趣旨として会員や関連団体、他私大などへの浸透を図るとともに在校生会員をはじめ卒業生会員へのサービス提供として業務を予定している。また、校友会設立10周年を迎え、記念式典を開催し、開校150周年へ向けて校友ネットワークを強化する枠組を構築する。

【会員構成と構成団体】

- (1) 会員構成：学部・大学院在校生、学部・大学院卒業生、短期大学部・保育専門学校卒業生、在校生の父母、名誉教授・現元教職員
- (2) 構成団体：大学同窓会、橋会、郵政会

【事業および収支】

①立正大学生涯メール維持管理

校友会員（在校生、大学・短大保専卒業生）に向けた大学との絆を強め、既に卒業された同窓生を含めて遡及することにより、導入後以降は、大学からのダイレクトメール等で情報発信を行い、新たな校友活動に役立てる。

②校友会ホームページ維持管理

校友会員（卒業生・在校生・在校生のご父母・現元教職員）に向けた広報活動に活用する為、校友会ホームページレンタルサーバーを利用し継続する。

③会員向け広報告知

校友会会員（卒業生・在校生・在校生ご父母・現元教職員）、他大学等関係機関用として校友会報を作成・発送し、又、平成 27 年度より生涯メール登録者の方には、メールにて情報発信し、校友会会員と校友会構成団体に対する本学校友会情報の提供と広報告知を行う。

④校友会リーフレットの作成・配布

校友会員（卒業生・在校生・在校生ご父母・現元教職員）、構成団体、他大学等関係機関に対する広報告知用

として「校友会ご案内」リーフレットを作成・配布。

⑤校友会費B

卒業生、現元教職員に向け、校友会の活動費として、校友会費Bの納入をお願いするにあたり、会費の用途を明確に伝え、会費納入の向上を目指します。平成30年度の校友会費Bのご案内は4月・7月・10月・翌年1月を予定しております。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

⑥在校生支援（校友会在校生還元事業 平成21年度より大学同窓会との名義協働連携事業）

平成21年度当初計画に基づき、在校生会費の在校生還元率40%～50%を目途に下記の事業を実施。

- ◆ 立正大学校友会奨学金：1期・2期募集を行い各20万円
- ◆ 課外活動助成
- ◆ 学園祭・体育祭助成
- ◆ 成績優秀者表彰
- ◆ 成績優秀奨学生
- ◆ 課外活動奨励支援事業助成
- ◆ 海外でのインターンシップならびにボランティア活動奨学金
- ◆ 入学記念品・卒業記念品の贈呈

⑦校友の集いの開催

平成21年度の校友会開設を契機とした校友会・構成団体共通キーワードの「絆、そして未来へ。」を継承して開催。大学・学園、校友会、大学同窓会、橋会、郵政会や関係諸団体との協働連携で開催。平成30年度立正大学校友の集い「ホームカミングデー in 橘花祭」開催、立正大学同窓会定期総会講演会開催、立正大学同窓会支部総会での講演会開催。

平成30年度の校友の集いは、品川キャンパスにて「ホームカミングデー in 橘花祭」として、橘花祭の時期に開催予定。

⑧構成団体助成

校友会の構成団体である大学同窓会、橋会、郵政会へ運営費の助成を行う。

⑨校友会10周年記念事業

平成21年度の校友会開設を契機とした校友会・構成団体共通キーワード「絆、そして未来へ。」を継承して10周年記念事業を開催。

～校友会から卒業生へ お祝いとして記念品を贈呈～

平成29年度の校友会在校生支援事業として、卒業生の方へ卒業証書フォルダーと実印サイズの黒水牛の印鑑（校章刻印入）一式を贈呈しました。



立正大学校友会に関する申し合わせ

第1章 総則

(名称)

第1条

本会を立正大学校友会(以下「本会」という。)と称する。

(目的)

第2条

本会は第5条に定める会員および第6条に定める団体の親睦を深め相互に協力・協働し、第4条に定める事業をおこなうことを目的とする。

(設置)

第3条

本会を立正大学品川キャンパス内に置く。

(事業)

第4条

本会は第2条に定める目的を達成するため以下の事業を行う。

- (1) 本学ならびに学園の発展と振興の賛助に関すること
- (2) 会員相互の親睦および校友の集い開催に関すること
- (3) 在校生の支援に関すること
- (4) 会員および構成団体との連携・協働ならびに相互協力に関すること
- (5) 構成団体の支援および助成金交付に関すること
- (6) 会報発行および校友会ホームページによる広報に関すること
- (7) その他本会の目的達成のための必要な事項

第2章 会員

(会員)

第5条

本会の会員は以下のとおりとする。

- (1) 本学学部および大学院在籍生、ならびに在学する学生の父母
- (2) 本学学部卒業生および大学院修了生
- (3) 立正大学短期大学部・保育専門学校卒業生
- (4) 本学の現元教職員
- (5) 本学または立正大学短期大学部・保育専門学校に在籍した者で、第16条に定める立正大学校友会(以下「校友会」という。)で承認された者
- (6) その他、校友会承認された者

(構成団体)

第6条

本会の構成団体は下記のとおりとする。

- (1) 立正大学同窓会
- (2) 削除
- (3) 立正大学郵政会
- (4) 立正大学橋会
- (4) その他、前条に定める会員が組織し校友会承認された団体

(会員資格の喪失)

第7条

会員は以下に定めるところによりその資格を失う。

- (1) 退学
- (2) 死亡
- (3) 脱会
- (4) 除名
- (5) その他

(会費)

第8条

会員は別に定めるところにより所定の会費を納入するものとする。

(会員個人情報の保護および管理)

第9条

本会は法および立正大学情報セキュリティポリシーならびに立正大学個人情報保護規程にしたがって第5条に定める会員の個人情報と会員データベースを適切に管理運用する。
2. 本会の会員情報と会員データベースは立正大学校友会会員情報および会員データベースとして校友会のもとで校友会が所管する。
3. 本会の会員情報は第4条に定める本会の事業および第6条に定める団体の活動以外には使用してはならない。

(会員情報の変更届)

第10条

会員は氏名・現住所および職業等に変更が生じた場合は届け出るものとする。

(顕彰および懇親)

第11条

本会は、本会のために特に功績のあった会員および団体を顕彰し、その名誉・信用・目的を損なった場合はこれを懲戒する。
2. 顕彰および懇親は校友会で行う。

第3章 役員

(役員)

第12条

本会に以下の役員を置く。

- (1) 会長 1名(学長)
- (2) 副会長 1名(副学長より1名)
- (3) 顧問 1名(学園理事長)
- (4) 監事 1名(学園監事より1名)

(名誉会長)

第13条

本会に名誉会長を置く。

2. 名誉会長は会長経験者とし校友会において選出する。

(役員の実務)

第14条

第12条に定める役員の実務は次のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し会務を統括する
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは会務を代行する
- (3) 顧問は会長の諮問事項および本会の運営について意見を述べることができる
- (4) 監事は本会の事業を監査する

(役員任期)

第15条

第12条に定める役員任期は1期3年として再任を妨げない。

2. 役員が任期途中で選任した場合、後任役員任期は前任者の残り任期とする。

(会議)

第16条

本会に校友会を置き本会に関する事項を審議する。

2. 校友会については、別に定めるところによる。

第4章 事務局

(事務局)

第17条

本会の事務局は校友会が所管する。

第5章 会計

(経費および監査)

第18条

本会の経費は、会費、寄付金、これらから生じる果実、およびその他の収入をもって支弁する。

2. 本会の収支決算は校友会で行い、必要に応じて学園の監査法人の監査を受けるものとする。
3. 本会から助成金の交付を受ける構成団体は、事業計画書、収支予算書、事業報告書、収支決算書等必要な事項について、定められた期日までに校友会に報告するものとする。
4. 本会の経理は校友会が所管する。

(会計年度)

第19条

本会の会計年度は4月1日から翌3月31日とする。

第6章 本申し合わせの改廃

(改廃)

第20条

本会の会則の改廃は校友会において出席者の過半数以上の議決により決定する。

第7章 雑則

(雑則)

第21条

第12条各号に定める役員は無給とする。

附則

平成21年4月1日制定、平成21年4月1日施行

平成23年4月20日改正、平成23年4月1日施行

平成24年11月21日改正、平成25年4月1日施行

平成25年11月20日改正、平成26年4月1日施行

平成27年11月18日改正、平成27年11月18日施行

1. 平成29年11月15日改正、平成29年11月15日施行

2. この規約期の施行をもって「立正大学校友会」の名称を「立正大学校友会」とする。

立正大学校友会細則

第1章 総則

(名称)

第1条

本細則は、立正大学校友会に関する申し合わせ(以下「申し合わせ」という。)第16条の定めにしたがって立正大学校友会(以下「本委員会」という。)について定める。

(委員会の任務)

第2条

本委員会は委員長の諮問事項、申し合わせに定める事項、立正大学校友会の運営に必要な事項、ならびに構成団体の運営と支援協力等について審議する。

(設置)

第3条

本委員会を立正大学品川キャンパスに置く。

第2章 委員会の構成

(委員)

第4条

本委員会は以下の委員をもって構成する。

- (1) 委員長 1名(校友会会長)
- (2) 副委員長 3名(校友会副会長・同窓会長・橋会会長)
- (3) 顧問 1名(校友会顧問)
- (4) 監事 1名(校友会監事)
- (5) 委員

- | | | |
|---|-------------|--------|
| ア | 大学事務局長 | 1名 |
| イ | 校友課長 | 1名 |
| ウ | 立正大学同窓会選出委員 | 2名 |
| エ | 削除 | |
| オ | 立正大学郵政会選出委員 | 1名(会長) |
| カ | 立正大学橋会選出委員 | 2名 |

(オブザーバー)

第5条

委員長は必要に応じて委員以外の者の本委員会への出席を許可し、その意見を聴取することができる。

(委員任期)

第6条

第4条に定める委員の任期は1期3年とし再任を妨げない。

2. 委員が任期途中で選任した場合、後任委員の任期は前任者の残り任期とする。

(委員の実務)

第7条

第4条に定める委員の実務は次のとおりとする。

- (1) 委員長は本委員会を代表し、委員会を招集するときその議長となる
- (2) 副委員長は委員長を補佐し、委員長事故あるときはその実務を代行する
- (3) 顧問は委員長の諮問事項および本委員会の運営について助言し意見を述べることができる
- (4) 監事は本委員会の事業を監査する
- (5) 第4条第5項ウからカに定める委員はその選出団体を代表し、委員長の諮問事項について意見を述べ本委員会の運営にあたる。
- (6) 第4条第5項アからイに定める委員はその実務において委員長の諮問事項について意見を述べ本委員会の運営にあたる。

(委員会の開催・成立・議決)

第8条

本委員会は委員長が招集し原則として年3回開催する。

2. 委員長が必要と認めるとき、または委員の3分の2以上の要請があるときは委員長は本委員会を開催する。

3. 本委員会は委任状を含め委員の過半数の出席により成立し、出席委員の過半数により議決する。

第3章 細則の改廃

(改廃)

第9条

本委員会の細則の改廃は委員長の発議により出席委員の過半数以上の議決による。

第4章 委員会の事務局

(事務局)

第10条

本委員会の事務局は校友会が所管する。

第5章 雑則

(雑則)

第11条

第4条に定める委員は無給とする。

2. 第4条第5項ウからカに定める委員の旅費交通費、宿泊費は学園旅費規程を準用して当該団体が支弁する。ただし、日当・鉄道グリーン料金および航空機特別席料金はこれを支給しない。

附則

平成21年4月1日制定、平成21年4月1日施行

平成23年4月20日改正、平成23年4月1日施行

平成24年11月21日改正、平成25年4月1日施行

平成24年12月21日改正、平成25年4月1日施行

平成25年11月20日改正、平成26年4月1日施行

平成27年11月18日改正、平成27年11月18日施行

平成29年11月15日改正、平成29年11月15日施行

熊谷キャンパス開設50周年写真賞が決定しました

本学地球環境科学部主催にて、昨年11月に募集を行っていた写真コンテストの受賞作品が決定いたしました。写真コンテストについて詳しくは、ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

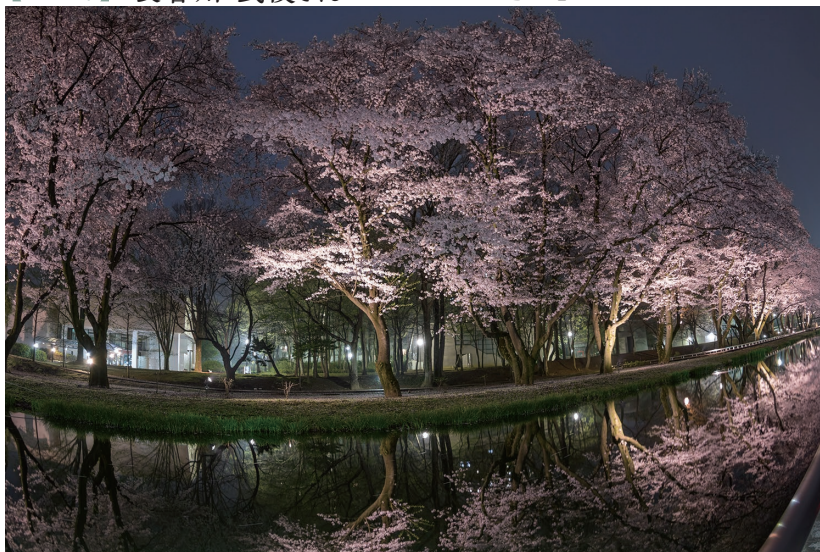
URL⇒ http://ris-geo.jp/photo_contest/kumagaya50.html

【金賞】 長谷川 樹生さん 「あしあと」



雪が積もった翌日に、「足跡」に注目することで、立正大学の雪の風景をめぐる様々なストーリーや、キャンパスで過ごす人々の「軌跡」が見えてくる写真となっており、面白い。

【銀賞】 長谷川 武俊さん 「みなもの魅惑」



川面に移り込む夜桜を撮影した点が秀逸。また、風の少ない日を選んだということからも、熊谷キャンパスで過ごす最後の春の風景をファイナダーにおさめようとする撮影者の努力と意気込みを感じる。

【銀賞】 相原 伸司さん
「#Time Traveller『I'll be back!』in 熊cam!!」



25年ぶりに熊谷キャンパス星霜祭で同期と再会しての一枚であり、50周年記念にふさわしい写真である。

【銀賞】 森本 拓さん 「2012年熊谷キャンパスの春」



青空の中の桜が存在感を示し、後ろに見えるアカデミックキューブが入学や新生活を飾っていた。古い桜と新しいアカデミックキューブの共存が時間の流れを表している。

【銀賞】 久保 直之さん 「変わりゆく」



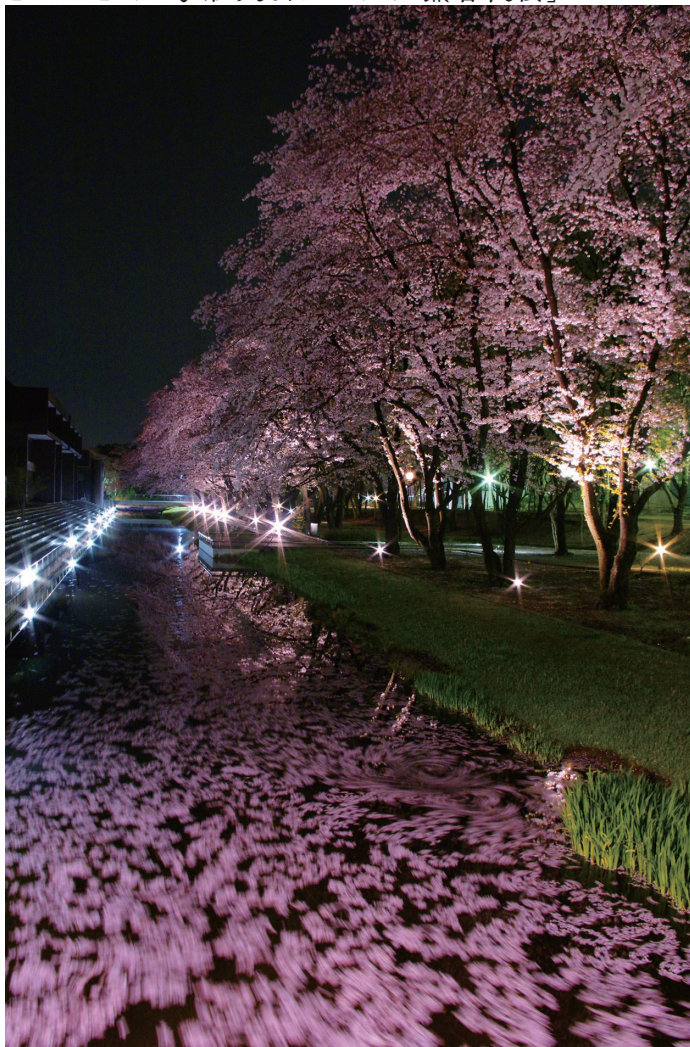
現在は当たり前になってしまったアカデミックキューブ、スポーツキューブの建設風景を切り取った記録的写真である。50年という長い時間の中で、熊谷キャンパスも絶え間なく発展を続けてきたことがよくわかる。

【銀賞】 高杉 陽名さん 「Beatles?」



熊谷キャンパスの曇天に出現した「アビー・ロード」。とても面白い構図である。バス停からアカデミックキューブまでのルート上にある横断歩道であり、学生にとっては思い出がいっぱい詰まっていることだろう。

【銀賞】 田嶋 壯太さん 「立正熊谷夜桜」



池の水面に映る夜桜が美しい。光の取り込みも優れている。これから始まる熊谷キャンパスでの豊かな学生生活を予感させる一枚となっている。

【じおたん賞】

下岡 順直さん
「熊谷キャンパスで新年度を迎える満開の桜」
小椋 学さん
「キャンパスの再整備工事が進む旧1号館」
佐々木 一憲さん
「いい所じゃないか!」
飯山 和也さん
「熊谷キャンパスの冬」

志賀 在清さん
「驀然驚回首、追憶五十年」
伊藤 智洸さん
「立春の雪」
齊藤 朋美さん
「自然とともに歩む」
金子 直子さん
「かくれんぼ」

— 沢山のご応募ありがとうございました —

ご挨拶

立正大学同窓会会長 野坂 法雄



さらなる飛躍を目指して

全国 48 都道府県同窓会会員の皆さん、各支部役員、各学部役員の皆さん、活動を支えて下さっている関係機関の皆さん、何時もありがとうございます。新たな時代に対応すべく、永年の課題に取り組むプロジェクトチームの活動に象徴されるように、速度を上げながらも着実に進めております。

熊本大震災の復興支援については、皆様のご理解をいただきながら進めてまいりましたところ、昨年 12 月 13 日に熊本市より感謝状を頂戴いたしました。市長室で直接市長さんからお手渡しいただき、御礼の言葉も賜りました。



地元のメディアも、取材をしてくれました。今、立正大学の名を全国的に広めようという時に、誠に有意義でありがたいことと思います。

どちらかという西日本に印象の薄い立正大学の名前が、九州熊本の地にしっかりと届きました。これからはいろいろな機会に応じて更なる努力をしてまいりたいと思います。

間もなく開校 150 周年を迎える立正大学、その淵源を千葉県飯高壇林にたずねれば四百数十年となりますが、芝の白金（昨今の承教寺）から数えてのことです。

記念事業もいろいろ計画がされていま

すが、まず冒頭に申し上げた「立正大学」の名を全国的に広めていこうとすること。その第 1 は箱根駅伝への参加を実現しようとするもの、これには大変なエネルギーを必要とします。監督は既に選任され、多くの課題に挑戦されています。数ある課題の中で最も重要なのは選手の発掘です。これは未来までも支えてあげること、「生涯に亘って」とも言われています。

同窓会としても、これの実現に精一杯の支援をしていきたいと思っています。おそらくこの悲願達成には、少なくとも 10 年の時を要することでしょう。会員の皆さん、どうか心からの応援と、絶大なるご協力をお願い申し上げます。

今、大学は冬の時代を迎えています。それは学生の絶対数の減少に起因します。度々お願いして恐縮ですが、入学生推薦の件です。皆さんの身近（お身内、地域社会）から立正大学へ送っていただきたい、諸々の問題があればご相談下さい。できるだけ叶うよう努力いたします。

さらに出口（就職）について、現在卒業生は 9 万人以上いらっしゃいます。それぞれが社会的に力強い存在となっております。どうかそのお力を可愛い後輩達に頂戴したいのです。さすれば「立正大学」は就職確実の評価をいただき、校名と共に全国に轟くでしょう。

その為、在学生と卒業生の出会いの場、絆を結んでいただく場として、大学祭開催中にホームカミングデーを設けています。是非、ご参加下さい。今年は同窓会の定期総会を熊本で 6 月 16、17 日に開催いたします。詳細は本部へお問合せください。それでは、熊本でお会いすることを楽しみに……。

同窓会支部総会開催報告

【埼玉県支部】

- ◆ 12月17日(日)
- ◆ そごう川口店 ホテルオークラ「桃源」
- ◆ 古今亭志ん五師匠の落語会&忘年会
- ◆ 東京都・経済学部・千葉県・群馬県支部・学部の方々出席



【東京都支部】

- ◆ 11月11日(土)
- ◆ 第2回 秋の美術鑑賞とグルメの旅
上野国立西洋美術館「北斎とジャポニスム」
上野精養軒「ランドーレ」
- ◆ ニノ宮同窓会名誉会長、三澤同窓会副会長他、
千葉県・神奈川県・埼玉県・群馬県の各支部の方々出席



【滋賀県支部】

- ◆ 5月27日(土)
- ◆ 京都市内及本能寺ご開帳
- ◆ 河久

- ◆ 会員家族など多勢の方々出席



【愛媛県支部】

- ◆ 12月2日(土)
- ◆ 松山市「白魂」
- ◆ 西岡総務委員長、加茂理事出席



【山口県支部】

- ◆ 12月2日(土)
- ◆ 防府市「割烹中谷」
- ◆ 講演会:松前了嗣氏(NPO法人 防長史楽会理事長)
「大村益次郎～学問に身を捧げた青春」
- ◆ 齋藤広報委員長、高島同副委員長、田中福岡
県支部長、濱田熊本県支部長、岡熊本県支部
事務局長(九州連合事務局長)の方々出席



～愛知県支部同窓会古今亭志ん五さん真打ち昇進と襲名披露講演～

立正大学同窓会・愛知県支部 澤木 利氏

3月1日・2日、名古屋市中区の大須演芸場で真打ち昇襲名披露興行として立正大学同窓生(法学部卒)の古今亭志ん五師匠(本名:内野喜章さん)が新真打ちがトリで「唾の釣」を披露いたしました。

それに対して満席の観衆からは割れんばかりの拍手でした。

その様子は地元紙中日新聞の記事としても大きく紹介されました。

私も大学同窓会・校友会のメンバーも愛知県支部関連10名ほどでその興行に行ってきましたが、驚いたのはなんと後ろの垂れ幕に立正大学の文字が大きく印刷されていたのです。それに目が行き仕方がありませんでした。

二代目古今亭志ん五さんとして立派に真打ちとしてスタートされたのです! 今後の益々のご活躍を祈念し報告とさせていただきます。



古今亭志ん八さん時代の写真

平成 30 年度

立正大学同窓会定期総会 in 九州・熊本へのお誘い

- ◆ 期 日：平成30年6月16日(土)～17日(日) ※6月17日(日):エクスカージョン
- ◆ 場 所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
〒860-8575 熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地 ☎:096-354-2111 (代表)
- ◆ 主 催：立正大学校友会・立正大学同窓会
立正大学同窓会九州連合会(福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄、山口)

6月16日(土) 受付13:00～

第1部 立正大学校友会主催講演会(13:30～14:10)

【演題】「熊本震災の概要と自然災害への備え」

【講師】熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター

准教授 竹内 裕希子 氏

【学歴】1998年3月 立正大学文学部地理学科
卒業学士(地理学)

2000年3月 東京農工大学大学院農学研究科環境・
資源学専攻森林科学コース修士課程
修了 修士(農学)

2003年3月 立正大学大学院地球環境科学研究科
環境システム学専攻博士後期課程単位
取得満期退学

2005年3月 博士(理学)取得 立正大学

【経歴】2003年4月 独立行政法人 防災科学技術研究所
特別研究員

2006年4月 京都大学防災研究所 研究員

2008年4月 京都大学大学院地球環境学学 特定助教

2012年3月 京都大学学際融合教育研究推進センター
特定准教授



2014年3月 熊本大学大学院自然科学研究科 准教授

2016年4月 熊本大学大学院先端科学研究部(組織
名変更) 准教授

第2部 立正大学同窓会定期総会(14:15～15:20)

- 【内容】◆物故者追善・来賓挨拶
◆平成29年度事業・決算報告
◆平成30年度事業計画・予算報告
◆その他

第3部 ブロック別交流会(15:30～16:45)

- 【内容】◆総会に参加された会員が複数のグループに分かれます。
◆自己紹介や活動紹介で支部・会員相互の交流を図ります。
◆同窓会活動の現状や課題等について意見交換します。

第4部 同窓会交流懇親会(17:00～19:00)

- 【内容】◆県立鹿本農業高校郷土芸能
伝承部による優雅な「山鹿灯籠
踊り」が披露されます。
◆熊本の郷土料理をお楽しみに。



鹿本農業高校HPより

6月17日(日) エクスカージョン：熊本城震災復興見学と阿蘇の恵みを見て食す旅

時 間	内 容
8:45～9:00	熊本城桜馬場の城郭苑内の観光案内所集合・受付
9:00～10:00	熊本震災で被害を受けた熊本城とその修復状況の見学
10:30～12:00	バスにて阿蘇南郷谷の南阿蘇村白川水源へ移動
12:00～12:45	清冽な水が湧く白川水源(環境省選定名水百選)の見学
12:45～13:00	バスにて道の駅くぎのへ移動
13:00～14:00	豊かな南阿蘇の草原で育った「あか牛」専門レストランで自然豊かな阿蘇の大パノラマを見ながら昼食
14:00～14:45	バスにて阿蘇くまもと空港へ移動・空港利用者は下車
15:00～16:00	バスにて JR 熊本駅へ移動・JR 熊本駅利用者は下車



- ◆参加費：4,000円(バス・昼食・ガイド・保険代含む) 参加費振り込みにつきましてはHPにてご確認ください。
- ◆募集人数に達しない場合、当日の天候悪化が予測される場合、中止となる場合もございます。
- ◆エクスカージョンのお申込につきましては、必ず同封の葉書にてお申込ください。先着40名。
- ◆宿泊及び航空券手配につきましては、1月号同封申込書にてお申込ください。

※最新の情報は校友会ホームページをご覧ください。

※また、その他お問い合わせは校友課まで TEL:03-3493-6673 FAX:03-3493-9068 E-mail:alu@ris.ac.jp



熊本地震 義援金報告

全国の同窓会の皆様!ありがとうございました



立正大学同窓会熊本県支部代議員 岡 裕二

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震は、発生以来、平成 30 年 1 月 31 日で、震度 1 以上を観測する地震が 4,461 回を超え、その被害は、関連死も含めた死者 249 人、全・半壊家屋が 43,237 棟の被害をもたらし、39,871 人の方々が 17,412 戸の仮設住宅やみなし住宅等での生活を余儀なくされています。

そのような中で、地震発生直後から立正大学同窓会の多くの皆様から寄付金が同窓会本部に寄せられ、その第 1 次分の 510,000 円は、熊本県社会福祉協議会に「義援金」として同窓会本部より直接寄付され、第 2 次分の 612,929 円の寄付先決定は、同窓会熊本県支部の裁量にまかされることとなりました。

そこで、支部役員・総会で調査・検討した結果、被災地の子育て支援や学童支援に活かすこととし、被災地で子育て支援や学童支援等の支援活動をしている民間活動団体や市町村において同様の民間活動団体の取りまとめをされている組織へ「支援金」として役立てていただくこととなりました。

具体的には、民間活動団体 (IPA くまもと: 50,000 円) と 3 町村の社会福祉協議会 (益城

町: 100,000 円、嘉島町: 75,000 円、西原村: 75,000 円) 寄付させて頂きました。

熊本市では、熊本市エンゼル基金 (子育て・学童支援を目的とする民間活動団体へ助成基金) へ被災者の子育て支援活動金 (312,929 円) として、市長室において寄付を行うこととなり、大西熊本市長より直接感謝の言葉を頂きました。

全国の立正大学同窓会会員の皆様のご厚情に被災地より御礼申し上げるともにご報告とさせていただきます。

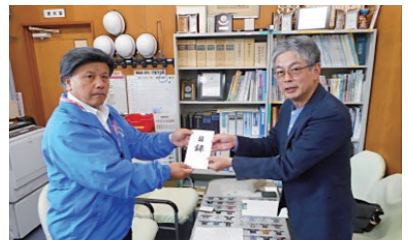
一熊本地震に関する義援金一		
平成28年5月31日	510,000円	熊本県社会福祉協議会
平成29年10月26日	312,929円	熊本市エンゼル基金
平成29年10月27日	100,000円	益城町社会福祉協議会
平成29年10月27日	75,000円	嘉島町社会福祉協議会
平成29年10月27日	50,000円	IPAくまもと
平成29年10月30日	75,000円	西原村社会福祉協議会



IPAくまもと



益城町社会福祉協議会



西原村社会福祉協議会



嘉島町社会福祉協議会



熊本市市長室



熊本市市長より感謝状

平成29年度 課外活動顕彰

頑張った在学生へ大学同窓会より祝賀を贈呈

3月1日に品川キャンパスで大学主催による「平成29年度立正大学課外活動顕彰式」が行われ、大学同窓会より代表として西岡副会長も出席しました。

顕彰された在学生の皆様へは大学同窓会より祝賀を贈呈いたしました。

【団体部門】

- ◆ 体育会水泳部 ◆ 体育会拳法部 ◆ 体育会排球部 ◆ 独立団体吹奏楽部 ◆ 体育会弓道部
- ◆ 体育会射撃部 ◆ 体育会バトミントン部 ◆ 文化学術・学芸研究団体地球にやさしい会

【個人部門】

- ◆ 山本 貴久さん(水泳部) ◆ 志熊 叶一郎さん(水泳部) ◆ 小笠原 雄大さん(剣道部) ◆ 長谷川 小枝さん(射撃部)
- ◆ 糟谷 寿々さん(射撃部) ◆ 池本 悠希さん(射撃部) ◆ 野々村 慧さん(射撃部) ◆ 坂本 豪さん(柔道部)
- ◆ 丸尾 修一朗さん(排球部) ◆ 市川 浩二郎さん(剣道部) ◆ 青木 響介さん(拳法部) ◆ 佛田 孝介さん(水泳部)
- ◆ 大谷 健太さん(柔道部) ◆ 勝俣 宏香さん(柔道部) ◆ 千葉 勇作さん(柔道部) ◆ 黒古 優太さん(剣道部)



集合写真



西岡副会長による挨拶



西岡副会長より祝賀

ご挨拶

立正大学橋会会長 田中 貞真



3年前のこと、息子の入学式のご挨拶で古河理事長先生が新入生たちに贈った言葉。

「諸行は無常である。怠らず励みなさい。」というお釈迦様の言葉が保護者の私の胸にも深く刻み込まれています。すごく新鮮で目の前がぱあっと明るくなったのを覚えています。

うらかな春を迎え、咲き誇る桜は人生の節目を迎えた私達を祝福してくれているようです。

卒業生の諸君、ご卒業おめでとうございます。

入学生の諸君、ご入学おめでとうございます。在学生の諸君、今年も学生生活を思う存分楽しんで下さい。

保護者の皆様におかれましては、常日頃より橋会へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。人生の節目を迎えられたご息子・ご息女の前途を心よりお祈り申し上げます。

橋会の主な目的は、学生が有意義な学生生活を送れるように、保護者の立場から応援することです。

大学と密接に連携し、保護者と学生と大学との交流を促進すること、そして、保護者同士が親睦を深め情報交換ができる場を設けていくことです。

平成29年度の活動を振り返ってみますと、5月の定期総会に始まり、全国15会場にて保護者懇談会が開催されました。

保護者懇談会は保護者の皆様、学生や大学の近況を知る上で大変役に立つ場になっており、「学長ビデオメッセージ」「大学の現況報告」「父母のための就職講座」「保護者個人面接」を行っております。

特に「保護者個人面接」について申し上げます。大学から年に2回、学生の成績通知表が郵送されてきますが、これによって単位修得状況がわかります。「保護者個人面接」では、学業のことはもちろん、成績表に隠された裏の部分、即ち学生の生活面も直接大学職員の先生方に相談でき、的確なアドバイスを頂くことが出来ます。就職活動についてのご相談もキャリアの先生方が対応して下さるので安心です。

また昨年度は、四国松山会場と九州福岡会場にて同窓会との合同開催でした。卒業生の皆さんと交流を持つことにより地元地域での就職情報等がより詳細にわかるのではないかと思います。

そして、新規事業といたしまして昨年11月4日に「就職報告会」を開催しました。実際に就職活動をして内定した学生、キャリアの先生方からお話を伺いました。やはり、子どもの就職活動が保護者の一番気になるところなのでしょう。当日は大変多くの保護者の皆さんにご出席頂きました。

次に、学生支援事業として行っております「橘会奨励賞」の授与。学術・文化・スポーツ・ボランティア活動を支援し、本学の団体・個人で行っている学生の地道な活動を顕彰する制度です。今年度は3団体の1人の応募があり、産学連携による商品開発で「TASKものづくり大賞」にて2年連続入賞

した経営学部畠山ゼミナールの皆さんに「優秀賞」授与致します。

平成30年度もより多くの応募をお待ちしております。

同じく学生支援として3年生の皆さんに「就職成就お守り」を配布しております。

就活頑張ってください!

以上、雑駁ながら昨年度の主な活動をご報告させて頂きました。

私は、大学生になってまで親が関わることは、決して「過保護」ではないことを橘会を通して気付かせて頂きました。子どもと向き合うことは自らの人生と向き合うことだと思います。

立正大学では保護者の皆さんが、全員橘会員、校友会会員です。今後とも積極的にご参加、ご協力の程お願い申し上げます。

平成29年度
立正大学橘会奨励賞



橘会では学生を対象に、学術・文化・スポーツ・慈善活動・その他広範囲の分野において活躍・努力している個人・団体を表彰しています。


受賞者

◆ **優秀賞** 経営学部 畠山ゼミナール

※表彰式は5月19日(土)開催の橘会定期総会にて執り行われます。

就職成就祈願の御札を配布

橘会では学生支援の一環として、就職成就を願い、平成30年2月28日(水)「就活キックオフミーティング」にて3年生の学生へ御札を配付いたしました。



ご挨拶

立正大学郵政会会長 市川 幹



元気で活力あるスタートを

今年は例年になく雪が多く「雪は天から送られた手紙」と言われますが、寒い日が続く、会員の皆様お変わり御座いませんか。平素物心のご支援を頂き有難う御座います。

今年、郵政会は60周年を迎え、11月3日(土)品川キャンパスにて記念式典を行います。校友会10周年記念式典・ホームカミングデーも同日行われます。是非ご参加ください。又、

記念式典を行うために多額の寄付を頂き誠に有難う御座いました。50周年後、校友会の発足等予算面で大変な時でもあり、会員も高齢化が進み、母校の近代的な都会の大学キャンパスを見て頂きたく、企画した次第です。「節目」を大切にしたい思いがあります。木材の節・物事のくずれ目・人生の節目・季節・文節・割符・かつてない行いをおさえる・守節等々意味合いがあります。それらを謙虚に受け入れ、今年も会員の皆様と、元気で活力あるスタートを致しましょう。

平成30年度

橘会保護者懇談会開催日(案)

平成30年度の保護者懇談会を下記の日程と会場で開催予定です。5月19日(土)開催の橘会定期総会にて正式決定となります。学生生活や就職等に関する情報収集の場として大学の先生方と直接お話しただいたり、同じ大学に在学する御子さんをお持ちのご父母の皆様との交流の場としてご活用下さい。

各回のお申込み方法等につきましては、別途、橘会より封書をお送りしておりますのでそちらをご確認下さい。

期 日	開催地	対象地域	会 場	住 所
5月27日 (日)	新潟市	新潟県・富山県・石川県 福井県・山梨県・長野県 岐阜県・静岡県・愛知県 三重県	万代シルバーホテル	〒950-8533 新潟県新潟市中央区万代1-3-30 ☎025-243-3711
6月3日 (日)	東京都 (品川キャンパス)	学部別全都道府県・仏教学部 文学部・経済学部・経営学部 法学部・心理学部	立正大学 品川キャンパス	〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 ☎03-3493-6673(校友課)
6月23日 (土)	青森市 ◆同窓会合同	青森県・秋田県・岩手県 山形県・宮城県・福島県	ホテル JAL シティ青森	〒030-0803 青森県青森市安方2-4-12 ☎017-732-2580
6月24日 (日)	仙台市 ◆同窓会合同	青森県・秋田県・岩手県 山形県・宮城県・福島県	ホテルベルエア仙台	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区1番町1-4-8 ☎022-217-8511
7月7日 (土)	岡山市	鳥取県・島根県・岡山県 広島県・山口県	ホテルメルパルク岡山	〒700-0984 岡山県岡山市北区桑田町1-13 ☎086-223-8101
7月8日 (日)	大阪市	滋賀県・京都府・大阪府 兵庫県・奈良県・和歌山県	ニューオオサカホテル	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10 ☎066-305-2345
7月29日 (日)	さいたま市	茨城県・栃木県・群馬県 埼玉県・東京都・千葉県 神奈川県	パレスホテル大宮	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ☎048-647-3300
8月25日 (土)	静岡市	新潟県・富山県・石川県 福井県・山梨県・長野県 岐阜県・静岡県・愛知県 三重県	静岡第一ホテル	〒422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町1-2-1 ☎054-281-2131
8月26日 (日)	名古屋市 ◆同窓会合同	新潟県・富山県・石川県 福井県・山梨県・長野県 岐阜県・静岡県・愛知県 三重県	東京第一ホテル錦	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-18-21 ☎052-955-1001
9月1日 (土)	高知市 ◆同窓会合同	徳島県・香川県・愛媛県 高知県	高知会館	〒780-0870 高知県高知市本町5-6-42 ☎088-823-7123
9月2日 (日)	福岡市 ◆同窓会合同	福岡県・佐賀県・長崎県 熊本県・大分県・宮崎県 鹿児島県・沖縄県	ホテルセントラザ 博多	〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街4-2-3 ☎092-461-0111
9月9日 (日)	千葉市	茨城県・栃木県・群馬県 埼玉県・東京都・千葉県 神奈川県	ホテルニューオオタニ 幕張	〒261-0021 千葉県美浜区ひび野2-120-3 ☎043-297-7777
9月29日 (土)	横浜市	茨城県・栃木県・群馬県 埼玉県・東京都・千葉県 神奈川県	コンベンションルーム AP 横浜駅西口	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-1 横浜APビル4階 ☎045-411-5109
10月21日 (日)	那覇市	沖縄県	ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城	〒903-8601 沖縄県那覇市首里山川町1-132-1 ☎098-886-5454
11月25日 (日)	熊谷市 (熊谷キャンパス)	学部別全都道府県 法学部・社会福祉学部 地球環境科学部	立正大学 熊谷キャンパス	〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700 ☎03-3493-6673(校友課)

INFORMATION

2018年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B (3,000円)に約2,532件・7,616,000円のご協力を賜りました。皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費用や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。

まだお振込がお済みでない会員の方は、専用振込用紙にてゆうちょ銀行よりお振込くださいますようお願い申し上げます。

なお、2016年度より毎号、振込用紙を同封しております。校友会費Bは年会費ですので、4月号より翌年3月31日迄に1度、お振込いただきますと、その年の会費としてお預かりしております。振込用紙は毎回のように届きますが、皆様、一律にお送りしておりますので、ご了承ください。

記入の際、下記青枠内において、本紙への氏名掲載を「許可する」。もしくは、「許可しない」のご希望をお伺しております。どちらか片方に○をお付けの上、お申込みくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。



卒業記念品



入学記念品

02 東京	払込取扱票	通常払込料金 加入者負担
00100001	417250	3000
立正大学校友会		
校友会費B	会員番号:	年度:
	学部学科名または研究科名:	
	卒業年度(修了年度):	
<input type="checkbox"/> 本紙への氏名掲載を許可する <input type="checkbox"/> 本紙への氏名掲載を許可しない		

立正大学生涯メールのご案内

立正大学では、卒業生・修了生が、同窓生同士の交流はもちろんのこと、本学との交流や情報交換を図り、無償、永年利用のメールサービスをおこなっております。詳細につきましては校友会ホームページをご参照下さい。

校友会会員情報について

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡下さい。

変更届の内容

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先または職業
- ◆校友会会員番号 (校友会報・学園新聞宛ラベルの番号)

お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
☎ 03 (3493) 6673 FAX: 03 (3493) 9068
Email : alu@ris.ac.jp

専用用紙は立正大学校友会ホームページ (<http://alumni.rissho.jp/>) からダウンロードできます。

お知らせください

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。

教職員訃報【平成29年12月1日～平成30年3月10日】

- 元学園事務局総務部付課長
井上 豊久氏 (平成29年10月28日 逝去)
- 元白菊学寮寮監 横山 恭子氏 (平成29年12月27日 逝去)
- 元学園事務局就職部次長
各務 丈信氏 (平成30年1月3日 逝去)
- 付属中学・高等学校音楽科教諭
渡部 与一氏 (平成30年1月3日 逝去)
- 元付属中学・高等学校社会科教諭
鈴木 博氏 (平成30年1月10日 逝去)
- 名誉教授 小谷 幸雄氏 (平成30年1月17日 逝去)
- 名誉教授 綿 拔 邦彦氏 (平成30年1月25日 逝去)
- 元付属中学・高等学校英語科教諭
平柳 真次氏 (平成30年2月4日 逝去)
- 非常勤講師 田中 裕之氏 (平成30年2月14日 逝去)
- 名誉教授 福岡 克也氏 (平成30年3月5日 逝去)
- 謹んで哀悼の意を表します



発行者	立正大学校友会 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
発行人	齊藤 昇
編集	立正大学学長室校友課
電話	03-3493-6673
URL	http://alumni.rissho.jp/